

日本洋書協会会報

BULLETIN OF JAPAN ASSOCIATION
OF INTERNATIONAL PUBLICATIONS

目次

- 委員会報告<広報委員会>・理事会報告1
- SSP2005に参加して2
- 関西懇親パーティー2005・海外ニュース3
- 会員の動き・委員会報告<文化厚生委員会>4
- 出版文化史逍遙(98) 洋書の歴史雑記帳(LIII)5

委員会報告 <広報委員会>

日本洋書協会セミナー

『進化を続けるGOOGLE広告ネットワーク』

—The Power of Google—

日時：平成17年10月4日（火）

場所：飯田橋レインボービル

参加者：会員36名

グーグルの会社案内から始まり多少退屈しましたが、サービス内容に入り実際のインターネットを使用
しての検索テクニックの説明になったあたりから講演
に引き込まれていきました。日頃落ち着いて検索方
法・可能範囲等を模索している暇の無い受講者の方々
にとっても有意義なものであったと思います。中でも
デスクトップ検索といって各個人のPCに入っている
データの検索サービス（データが外部に漏れることは
無いそうです）は益々データ量が増大し、適切なファ
イリングと探索に苦しんでいる我々ビジネスマンには
朗報と思えました。また今回の主題でもあるネット広
告についても、料金システム等実際の画面を見ての説
明であったためよく理解されたと感じました。新サー
ビスのグーグルアース（日本語版では現在まだ不可）



は自身が飛行機に乗り地上50m～10,000m（？）の間
の世界中を画面移動に滞ることなく自由自在に飛び回
っている気分になり、技術力の高さに感心すると共に
とても楽しいものと感じました。

最後にこの場を借りて、セミナーの集客が予想外に
悪く、理事会の皆様、一般会員の皆様にはご無理を聞
き届けていただきましたことを深く感謝お礼申し上
げます。

鈴木 仁（雄松堂）

理事会報告

日時：平成17年9月22日（木）

委員会報告

1. 理事長から

会員訪問、関西出張：関西を含め現在18社を訪
問した。訪問先で出された意見の内

①協会主催のセール

②出版社の商品説明会（非会員も対象）

を具体化したい。今後も訪問を続け、出された
意見を検討していく。

2. 委員会報告

(1)総務委員会

前回の理事会で、全社に委員会に参画頂くとの

方針に対し

- ①事業委員会ではバーゲン参加者(社)に参画願う
- ②文化厚生委員会では下部組織を設け、同好会活動参加者(社)に参画願う
の具体策を提示し承認された。

(2)広報委員会

今回のセミナーは10月4日(火)に行く。まだ定員に達していないので理事会社の協力を御願ひしたい。

(3)ダイレクトリー・HP委員会

新メンバー会議を9月16日に行った。新委員として若手を起用。副委員長に堀井俊之氏(ミロブックサービス)を選任。主な議題はホームページの改訂。現状と改革案が出されたが、会員にもアンケートを取り、順次具体化していく。

(4)文化厚生委員会

関西懇親パーティーには21社53名の参加があった。来年も継続したい。

その他

- (1)TIBF スリランカ入国拒否問題：書協でも成田で入管に照会したが、個人情報ということで取り合わなかった。その後スリランカ書協から連絡無し。
- (2)協会主催セール：事務局で古書会館の日程を調査の上、事業委員会に諮る。
- (3)IFLA ソウル大会：希望者(社)を募り参加。韓国洋書協会と交流会も検討。当面費用の概算を算出する
- (4)英国書協の訪日：参加出版社を聞いてから対処
- (5)著作権法改悪：文化庁のHPで意見の募集を行っている。反対意見を述べて欲しい。

SSP2005 に参加して

ユサコ株式会社 山川 隆司

去る6月にボストン市内で開催された SSP2005年大会に参加してまいりました。そこで発表された論文とディスカッションについて我々洋書輸入取次業者にとって関心の高い内容について報告と要約をいたします。

SSP (Society of Scholarly Publishing) は米国の学術出版流通にたずさわる著者、編集者、査読者、出版社、出版流通業者から成る業界NPO団体で構成されています。日本洋書協会の中核を占めるSTM系の流通業者にとって関連の深い協会であると思います。会議は5月20日～6月7日、ボストン市内のウエスティンホテルで開催され、本年は過去最高の2,000名のメンバー、ノンメンバーが世界各国から集まりました。会議のテーマは『EXPANDING THE WORLD OF SCHOLARLY PUBLISHING』でした。

学術情報の生産と流通において、学術出版サイクルがインターネットの利用によって大きな変革が起きつつあります。オープンアクセス、機関レポジトリ、NLMによるPublic Library of Science、Google電子図書館プロジェクト、SPARCやCrossRefなどの活動

によって出版社のみならず我々流通業者の今後の存在についてもその将来は定かではないことを強く感じました。また将来の学術出版のサイクルにおいてはプレーヤーの融合も考えられ「Publorian」や「Liblishers」というような融合体も登場しつつあります。

一方で、これらの変化を通して新しいビジネスモデルが登場しつつあり、OpenURLやLinking Technologyによって新しいビジネスが立ち上がりつつあるのはご存知の通りです。しかしながら学術情報の流通の円滑化とスピードアップを計るためには、種々のメタデータの標準化が求められ、また学術情報の利用統計も更に求められることになるでしょう。それにも増して論文執筆の過程でより高度で信頼される査読プロセスの登場が求められているのは当然なことと思われます。

このように、新しい津波が我々の業界に襲いかかってきています。これに対処するためには一層の改革、選択と集中が求められるのは当然です。我々の業界においても、若手のリーダーシップが今程必要とされている時代はないのではないのでしょうか。

関西懇親パーティー2005

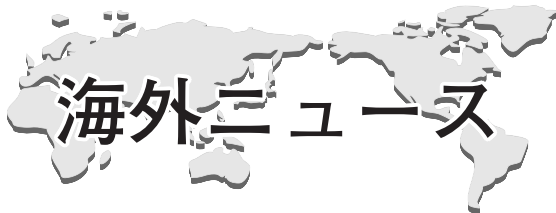
9月2日（金）、梅田にある新阪急ホテル月の間に於いて関西懇親パーティーが開かれ、20社55人が参加しました。このイベントはいままで東京で行われてきましたが、変化する洋書ビジネス業界の中心に位置するステージのひとつである関西で、コミュニケーションを深めるという目的のもとに昨年からスタートしました。

グレシャム理事長（UPS）からHuman Resourcesをキーワードにしたスピーチがあり、ここにお集まりの皆様の知識、能力、経験、創造性は貴重な財産であるとの内容でした。続いて村田会長（丸善）から丸善の店舗展開等の説明を含めたお話と乾杯の音頭でパーティーは始まりました。

昨年に引き続き参加された方も多く、この一年の業界の動きの総括的な話から、今後の対応策、書店情報

の交換、健康法やスポーツ、趣味に至るまでの幅広い話題で歓談され、和やかな雰囲気ですべては進みました。昨年同様まだまだ盛り上がるぞという中、あっという間に2時間の時が流れ中締め時間をむかえてしまいました。鶴文化厚生委員長（東亜ブック）の病気を克服し、ここまで声を出せるようになったお話と挨拶に続き、至成堂書店の菅浦社長から、今後は東京で行われるパーティーにも是非参加したいという決意を頂きました。二回目の今回も盛況のうちに幕を閉じ、参加された皆様は名残惜しい思いで帰路に着いたことでしょう。いや、二次会三次会と飲み続けられた方々も多いのではないのでしょうか。それほど関西は熱いステージであり、また来年も開催を予定しておりますので、是非ご参加下さいますよう宜しくお願い致します。

（U. P. S. 林 勇治）



◆◆ HMVの業績に若干の改善

音楽関連商品の大手チェーン、HMVは、小売高こそ4.4%減となったものの、若干ではあるが業績改善のきざしがあるとしている。同社は書店チェーンのWaterstone'sを所有しているが、現在ライバルであるOttakar'sを9千6百万ポンド（1億7千万ドル）で買収交渉を進めている。

HMVの最新業績報告は、5月の年次総会以後21週間の結果が網羅されている。それによると、ロンドンの売上はテロ騒ぎの影響で7月に落ちたものの、海外では好調である。

英国およびアイルランドの小売は9.2%減、カナダは7%増で、アジア・パシフィックでは6.6%増となって

いる。Waterstone'sの書籍小売は6.4%減である。

Ottakar'sを買収できれば、書籍販売での戦力アップとなり、書籍と音楽関連商品とのミックス販売を拡大してゆく要因になると、同社重役のDavid Kapplerは考えている。

BBC NEWS SEP/28/2005

◆◆ Random Houseのオンライン書店

Random Houseは、在庫のある自社出版物（約2万タイトル）の直接販売を開始する。同社およびインプリントのホームページにアクセスした消費者は、「Find This Book At an Online Store」の表示をクリックすることで、出版社から直接購入することができる。このサイトには、同社タイトルを販売しているオンライン書店もリンクされている。

インターネット注文は、定価（List Price）販売で、自社倉庫から出荷される。新刊書籍は刊行日から3日後に販売可能となり、注文日の翌日航空便で出荷（送料9ドル＝アメリカ国内）される。

The New York Times AUGUST/26/2005

◆ Barnes & Noble ネット書店での e-Book販売を取りやめ

Barnes & Nobleは自社ネット書店Barnesandnoble.comで、e-Booksの販売を取りやめる旨発表した。購入した顧客は12月9日迄に、同書店かMicrosoftのeBookリーダーからダウンロードしなければならない。Adobe Reader使用の顧客にはアクセスに90日の猶予がある。

2000年初め頃のeBooksに関する興奮状態は、売上の面でも消費者側の状況でも、失望する結果となってきた。評論家によると、eBookを読むためのテクノロジーの普及が遅れているためだとしている。今回の

Barnes & Nobleの決定で、MicrosoftやAdobe Systemsは深刻な打撃を受けられる。

2000年1月、Barnes & NobleはMicrosoftとの同意のもと、eBookストアを立ち上げ、ここを通して積極的にe-Booksを販売してゆくと発表した。Microsoftは、デジタル書籍のデザイン、ソフトウェア、ハードウェアに多大な投資をし、ポータブル端末としてPocketPCやTabletPCを開発した。Microsoftはこれらの商品開発を継続してゆくもよう。

Adobeも2000年にBarnes & NobleとAdobe PDFフォーマットを使ったe-Bookの販売に関する契約を交わしている。
Authorlink News SEP/27/2005

会 員 の 動 き

代表者変更（代表取締役）

株式会社三善

新任：大澤久治氏（代表取締役社長）

斎田利幸氏は取締役会長に就任

異動日：2005年5月

株式会社穂高書店

新任：青柳枝里子氏（代表取締役社長）

青柳健氏は代表取締役会長に就任

異動日：2005年6月

株式会社ゲーテ書房

代表取締役

新任：唐澤廣憲氏

村山新吾氏は顧問に就任

異動日：2005年8月

住所変更

幸洋商事株式会社

東京都千代田区内神田一丁目1番14号

日立鎌倉橋ビル9階

電話、FAXは変更ございません

異動日：2005年7月

委員会報告 <文化厚生委員会>

第118回 72会ゴルフコンペ

2005年9月17日(土) 晴れ 会場：武蔵カントリー倶楽部 豊岡コース 参加者：16名

〔成績表〕

	氏名（所属）	グロス	ハンデ	ネット	ベストグロス	金原	優（医学書院）	88
優勝	金原 優（医学書院）	88	16.8	71.2	ドラコン	小林 謙作×2	根来 恒男×2	
2	鶴 三郎（東亜ブック）	103	31.2	71.8	ニヤピン	西山 久吉	豊泉 弘	
3	仲 光男（雄松堂書店）	95	22.8	72.2		小林 謙作		
4	宮川 修（丸善）	91	16.8	74.2				
5	根来 恒男（川崎航空）	98	22.8	75.2				

洋書の歴史雑記帳 [LIII] ドイツ学術受容の歴史(16) 鈴木陽二

◆『解体新書』(1)

シーボルトの来日から時代が50年程遡るが、『解体新書』について記すことにしたい。

日本の蘭学(医学)が飛躍的に発展することになったのは、『ターヘル・アナトミア』の翻訳書『解体新書』の出版だったと言われている。この『解体新書』の翻訳出版に関係したのは小浜藩の藩医杉田玄白・中川順庵、中津藩の藩医前野良沢、一ツ橋家の侍医の石川玄常、幕府奥医師の桂川甫周だった。

『解体新書』の翻訳を中心的に手がけたのは前野良沢だった。良沢は福沢諭吉が出自した中津藩の藩医で、オランダ語の学習欲に燃えて一時は青木昆陽を師としてオランダ語を学んだが、オランダ通詞より師のオランダ語の未熟さを指摘され、また死亡によって学習の手立てを失い落胆した。しかし改めて奮起し、藩主奥平昌庵の許しを得、多額の資金を下賜されて長崎に留学した。そして、100日ほどという余りにも短い長崎滞在中で血の出るような努力を重ねて通詞よりオランダ語の習得に努めたが、いよいよ長崎を去るという直前に通詞の斡旋でオランダ商館員から大金をはたいて解剖書『ターヘル・アナトミア』を入手した。

杉田玄白と中川順庵はともに小浜藩の江戸詰め奥医師の出自でともにオランダ医学に深い興味を抱いていた。特に玄白は早くからオランダ医学に関心を抱いていた。大通詞吉雄耕牛がオランダ商館長の江戸参府に随行して来府した折に入門を乞い、吉雄が所持していたローレンツ・ハイステル(Lorenz Heister)の外科書“Chirurgie”の蘭訳本の図譜を見て深く感銘し、それを借り受け挿図を書写した。ハイステルはフランクフルトに生まれ、ハルムシュタット大学の教授としてドイツ外科学の科学的基礎を築いた学者としてその学業は高く評価された。彼の主著の外科学書(蘭訳本)はわが国でも大槻玄沢、宇田川榛斎、杉田玄白などによりいくつか翻訳が手がけられた。

玄白は結局オランダ語の余りの難しさにその学習を断念したが、同じ藩医の順庵の斡旋でオランダ通詞より『ターヘル・アナトミア』を入手した。中川順庵は本草学・物産学に造詣が深く、秩父の山中で石綿を採取して防火布「火浣布」を創案した。ツンベルクの『日本紀行』にも彼の名が記載されているという。

「錫いろの布をたらしたような沖の彼方で、空と水が密着していた。どこが水平線なのかわからなくて、閉ざされた雲壁の果てに、朱の糸をひいたような夕方の沖があった」、水上勉は若狭の海の寂寥とした光景をこう描写しているが、この海に面した小浜藩は酒井家10万3千石の城下町だった。領内の敦賀港や小浜港は北前船が頻繁に通い藩財政を潤した。古くから若狭の海で獲れた海産物が都に送られており、その往来だった小浜と京都をつなぐ味わい深い古街道が、今でも越前鯖街道と呼ばれて往事の姿を残している。小浜市の町並みには昔の面影はほとんど残っていないが、それでも北前船の要港だった関係で発達した色町の、弁柄格子の連なる情緒漂う界隈が今でも見られる。小浜は、日本海の風土に浸ったしっとりした町である。

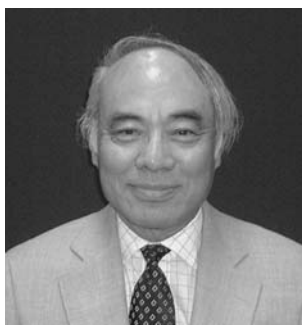
歴代の藩侯は学術に理解が深く、江戸後期、国学者として名を馳せた伴信友なども出ているが、1754(宝暦4年)に山脇東洋が学者として日本で始めて人体解剖を詳細に臨検できたのは、京都所司代の小浜藩主酒井忠用の理解ある許可をもらったことにあった。この腑分けに基づいて彼は1759(宝暦9年)に『蔵志』を出版した。東洋は当時ドイツ医学者ヨハン・ヘスリングの解剖書『解剖学大系』を所持しており、腑分けの検分と執筆にはこの本を参照したと見られている。

話が横道にそれたが、前野良沢・杉田玄白・中川順庵の3名は小塚原の刑場で腑分けが行われるという知らせを受けて、かねて入手していたオランダ解剖書『ターヘル・アナトミア』と実際の人体構造とを比べるべく実見に赴き、その正確さに驚嘆した。その帰路に誰言うともなく『ターヘル・アナトミア』の翻訳に挑戦することを決意し、早速良沢が住まいしていた築地の奥平家下屋敷に集うことになった。

現在築地の聖路加病院の側に「慶応義塾発祥の地碑」と並んで「蘭学の泉の碑」が立っているが「慶応義塾発祥の地」碑は幕末に中津藩士だった福沢諭吉が奥平家の同じ下屋敷で塾を開いたことを記念する碑で、『解体新書』の訳業もこの奥平家下屋敷で行われた。〔参考文献:岩崎克己『前野蘭化』/片桐一男『杉田玄白』/ジョン・Z. パワース著『日本における西洋医学の先駆者たち』/吉村昭『冬の鷹』

(元丸善・本の図書館長)

JAIPの皆様にご挨拶致します



山川隆司

昭和9年(1934)年の創業以来
ユサコはJAIPにお世話になっ
て参りました。創業者山川隆雄
同様、私も長年に亘りJAIPの理
事とを拝命して参りました。また、
現在はホームページ・ダイレクトリ
ー委員会の委員長として、業界
発展を祈りつつ、微力ながら活
動させて頂いております。

この紙面をお借りしまして、JAIP
会員の皆様とお付き合いの機
会の多い社員を紹介させて顶き
ます。

私たちがユサコと皆様を結びます



ユサコに入社して間もないですが、東日本営業所、
西日本営業所の両営業所を統括しています。

清水 昌昭



東日本営業所の所長です。学生時代に野球で鍛
えた体力をもとで、日々静岡以北のお客様を訪問
しています。

松下 豪太



西日本営業所の所長です。入社以来一貫して大
阪に勤務しています。名古屋、北陸以西日本地区
のお客様とお付き合い頂いています。

都築 明彦(西日本営業所)



電子メディア商品のマーケティングと営業活動を担
当しています。今後とも宜しくお願いします。

加賀美 裕介



長年に亘りユサコの卸業務を担当し、同業者の皆
さまには懇意にさせて頂いております。今後とも宜
しくお願い致します。

遠竹 俊郎



この春から仕入れ業務を統括しています。皆さまの
ご指導をお願いいたします。

須藤 香理



USACO
PROGRESSIVE CHANGE IS OUR WAY OF LIFE

ユサコ株式会社

〒106-0044 東京都港区東麻布2丁目17番12号

Tel:03-3505-3256 / Fax:03-3505-6282 / Email: marketing@usaco.co.jp